



仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について
(第3四半期)

仁 淀 川 地 域 本 部

平成30年2月15日(木)

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H30.2.15

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの平成 29 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全 38 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、11月に創業3周年を迎えた日高村の直販所「村の駅ひだか」については、平成26年度の開店以降の集客数が60万人を突破し、売上ともに好調であり、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、平成28年度末に産振総合補助金を活用して(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、衛生管理の徹底を図るとともに販路拡大に取り組むこととしている。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用した新工場整備に着手するとともに、関連企業・団体と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

林業分野では、平成28年4月に完成した大型製材工場の原木利用量が増加しており、今後も稼働率の向上、製品流通の拡大に継続して取り組むとともに、原木増産と安定確保に向けて管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図ることとしている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、今後はさらなる販路拡大に取り組むこととしており、さらには水産業クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

観光分野では、越知町がアウトドアの拠点施設となるキャンプ場の整備を進めており、来年度のオープンに向け、(株)スノーピークを管理者に指定した。また、9月から新たに地域アクションプランに追加された、酔鯨酒造の新工場を核とした観光振興の取り組みにおいては、インバウンドによる集客も視野に入れ、計画をスタートさせたところであり、土佐市で醸造棟の整備に着手した。

「志国高知 幕末維新博」の地域会場である紙の博物館では国際版画トリエンナーレ展を開催、青山文庫（歴史資源）では企画展を順次開催するなど集客力を高めたことで、入館者は平年ベースと比べて順調に増加しており、さらなる集客に向けて、「観光クラスター整備計画」に基づく周遊促進の取り組みや観光情報の発信をこれまで以上に幅広く、またきめ細かに実践し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 70ha<H27:55ha></p> <p>サンショウ : 80ha<H27:73ha></p> <p>ダイダイ : 30ha<H27:28ha></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 56ha</p> <p>サンショウ : 70ha</p> <p>ダイダイ : 30ha</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 56ha → 実績 55ha</p> <p>サンショウ : 70ha → 実績 69ha</p> <p>ダイダイ : 30ha → 実績 28ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ (11月末) : 49ha</p> <p>サンショウ (11月末) : 65 ha</p> <p>ダイダイ (11月末) : 27 ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊2名による栽培支援 (4月～) ・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査 (6回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置 (5/23) 及び試験処理 (7/3、7/26、8/28) ・ヒューマンライフ土佐総会 (6/1) ・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)を配置 (9/1～) ・ミシマサイコ栽培講習会 (11/30) ・こうち農業確立総合支援事業補助金の活用によるミシマサイコ自動茎切機の整備 (10/6 交付決定、10/13 納入) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した、2年株専用品種の栽培技術確立 ・ミシマサイコの発芽促進 ⇒発芽不良圃場における被覆資材処理効果の検証 (H30.2月～)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額：200,000千円<H26：40,946千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額：80,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生姜加工品の販売額：80,000千円 →実績 41,661千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>生姜加工品の販売額</p> <p>(H29.9月期)：46,633千円(前年比111.9%)</p> <p>(H29.10月)：4,814千円(前年同期比89.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議(7回) <p>食品ビジネスまるごと応援事業の活用による生姜加工商品のパッケージ等の改良に向けた協議など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP研修への参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 <p>⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施</p> <p>⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討</p>
<p>■NO.8 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・西村青果(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額：4.0億円<H26：3.4億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額：4億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額：3.45億円 → 実績 5.31億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額</p> <p>(H29.9月期)：4.6億円(前年比88%)</p> <p>(H29.10月)：36,120千円(前年比94%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内取引農家との打合せ：25回 ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 <p>(H29.9月期)：152t(前年比173%)</p> <p>(H29.10月)：1.5t(前年同期比84%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町農業クラスタープラン検討会(7/25) ・いの町農業クラスタープラン2次3次ワーキンググループ検討会(12/4)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の維持による取引の継続
<p>■No.9 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：13,580千円<H26：4,913千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：12,400千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：11,800千円 → 実績 14,692千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額(11月末)：9,266千円(前年同期比117.5%)</p> <p>◇経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家を含めたWGにおいて、経営計画を策定(6月～6回、中小企業団体中央会のアドバイザー活用) <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで「きじコロッケ」の販売開始(4月) <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会への参加(5/30) ・通信販売会社において、きじ肉の取扱が開始(8月) ・県外バイヤーの視察対応 ・ドラゴン広場内フランス料理店との商談実施(5/18) ・中央西福祉保健所によるHACCPの現地確認指導実施(5/9、7/20) ・県版HACCP第2ステージの認証取得(11月) <p>◇広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内PRイベントへの参加：15回 ・高知食1グランプリへの参加：9位/46品 ・四国食1グランプリへの参加：15位/19品 ・開催地等：愛媛県八幡浜(11/11～11/12) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の実行及びブラッシュアップ ⇒利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ・衛生管理体制の確立 ⇒県版HACCP第3ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ・運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 11 日高村まるごとブランド化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・JAコスモス ・(株)コスモスアグリサポート ・(株)イチネンホールディングス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>農産物等の販売額：4.5億円<H26：4.3億円> 「オムライス街道」によるオムライス販売数 ：100,000食<H27：66,200食></p> <p>商品・加工品開発件数 ：10件(H28～31累計)<H27：0件></p> <p>県外からの移住者数 ：10組(H28～31累計)<H27：2組></p> <p>新規就農者数 ：4名(H28～31累計)<H27：2名></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>農産物等の販売額：4.3億円 「オムライス街道」によるオムライス販売数：67,000食 商品・加工品開発件数：7件(H28～29累計) 県外からの移住者数：4組(H28～29累計) 新規就農者数：9名(H28～29累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>農産物等の販売額：4.3億円 → 実績4.3億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物等の販売額(10月末)：187,882千円 (前年同期比97.3%) ・「オムライス街道」によるオムライス販売数(11月末) ：59,592食(前年同期比120.9%) ・商品・加工品開発件数(H28～H29.11月累計)：5件 ・県外からの移住者数(H28～H29.11月累計)：5組 ・新規就農者数(H28～H29.11月累計)：8名 <p>◇日高村アグリネットワークの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回日高村農業クラスタープロジェクト会(5/31) ・アグリネットワーク連絡会(9/20) <p>◇日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムライス街道スタンプラリー第4弾キックオフイベント・スタート(6/12) ・長谷川アドバイザーと日高まるごとイタリアンプロジェクトの全体構想に関する打ち合わせ(2回) ・「オムライス街道」の取り組みが「ディスカバー農山漁村の宝」に選定(11月)、記念イベントの実施(12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村アグリネットワークの連携強化 ⇒日高村アグリネットワーク会議の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップ ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ⇒日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進による新たな商品や加工品の開発 ⇒H30のトマト加工施設建設に向け、関係者協議を実施 ・雇用及び移住者の増 ⇒新規参入企業(株)イチネンホールディングスによる雇用増と『いきつけ田舎』(一時滞在住宅の整備)の取り組みによる移住促進
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業体 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>原木生産量: 12.0万m³<H26:8.0万m³> 製材工場原木利用量: 5.0万m³<H26:1.7万m³></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>原木生産量: 10.0万m³ 製材工場原木利用量: 3.0万m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>原木生産量: 9.0万m³ → 実績 9.0万m³ 製材工場原木利用量: 2.3万m³ → 実績 1.7万m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>原木生産量(9月末): 4.4万m³(前年同期比 113%) 製材工場原木利用量(10月末): 1.6万m³(前年同期比 173%)</p> <p>◇施業地の集約化及び原木生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業体等林業関係担当者会の開催(5/19) ・増産に向けた事業体への聞き取り調査(11事業体) ・仁淀川町森林管理推進協議会第1回協議(7/13) ・森林資源情報の把握をする3Dレーザー計測機の現地研修(8/3) ・中央西地区路網整備促進会議設立(6/26)及び各市町村での路網整備ワーキンググループ開催(いの町吾北3回、いの町本川4回、越知町・佐川町合同4回、仁淀川町池川2回) ・森林経営計画策定及び森の工場認定支援(越知町、2森組、11事業体) <p>◇林業事業体、人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導(高知中央森組8回、仁淀川森組8回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の作業システム改善指導 (現地調査 高知中央森組 2 回、高性能林業機械視察 1 回 (両森組参加)、搬出技術研修 1 回 (両森組参加)) ・増産に向けた技術指導 (3 森組、9 事業体) ・林業労働災害防止研修会 (仁淀地区 9/14、吾北地区 9/15) ・森林認証制度勉強会 (9/26) ・小規模林業推進協議会 (7/8、11/16) ・佐川町自伐型林業推進協議会総会 (11/7) <p>◇大型製材工場の稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型製材工場の進捗管理及び指導 (9 回) <p>◇川上・川下の需給調整体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川流域森林管理システム(国のモデル事業に採択)の構築に向け、事業計画の策定を支援(仁淀川町 4 回) ・全国 16 地域の 1 地域として高吾北地域が林業成長産業化地域創生モデル事業の承認 (9/5) ・仁淀川流域森林管理システムの計画・管理を行う仁淀川町、越知町、佐川町 3 町による「高吾北地域原木安定供給協議会」設立及び第 1 回協議会 (9/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施 ・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担う組織(仮称：森林管理センター)の構築と人材の確保 ⇒仁淀川森林管理推進協議会及び高吾北地域原木安定供給協議会との連携と林業成長産業化地域創生モデル事業の活用による組織づくり、人材育成、森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産団体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：21.0 t <H27:19.0t> マッシュルーム出荷量：22.0 t <H26:14.3t> 原木まいたけ生産量：0.6 t <H27:0.1t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：19.5 t マッシュルーム出荷量：14.0 t 原木まいたけ生産量：0.26 t</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達状況]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：1t → 0t (H29 より支援地区変更) マッシュルーム出荷量：14.0t → 11.7t 原木まいたけ生産量：0.26t → 0.1t</p> <p>[取組状況]</p> <p>シキミ・サカキ生産量(10月末)：9.1t マッシュルーム出荷量(10月末)：8.1t(前年同期比113%) 原木まいたけ生産量(10月末)：0.25t(前年同期比250%)</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導に係る情報収集(仁淀川町3回) ・生産者への現地指導(土佐市2件、いの町2件、仁淀川町18件) <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルーム害虫防除指導(6回) ・新たなきのこ品種(原木きくらげ)栽培指導(生産組合4回、木こり屋他2回) <p><原木まいたけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター打合せ協議(6回) ・原木まいたけ等栽培指導(5回) ・先進地視察(大分県・熊本県 6/13～6/15、宮城県 11/28～11/30) ・イベントでの普及啓発(氷室まつり 7/9、きのこ大収穫祭 10/7) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町長者だんだんの里への特用林産支援(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化 <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上 ・新たな原木きくらげの安定生産 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続 <p><原木まいたけ等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5品目(マイタケ、キクラゲ、ムキタケ、ハタケシメジ、ナメコ)の複合栽培による安定的な収益の確保 ・集荷、出荷体制の整備 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・自伐型林業に取組む個人・団体 <p>※地域産業クラスター関連(佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業関連新規就業者数: 24人(H28~31累計) <H27: 5人></p> <p>山林の集約化面積: 400ha(H28~31累計) <H27: 0ha></p> <p>ものづくりと連携した起業者: 3人(H28~31累計) <H27: 0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人</p> <p>山林の集約化面積: 200ha</p> <p>ものづくりと連携した起業者: -</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人 → 実績 6人</p> <p>山林の集約化面積: 100ha → 実績 約90ha</p> <p>ものづくりと連携した起業者: -</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊採用 7人(4月、自伐4人 ラボ3人) ・「チームさかわ農林業の会社の設立検討会」の開催: 3回(4/27、6/26、9/20) ・山林の集約化に向けて尾川地区(318ha)でアンケートを実施(8/3) ・町民向けの自伐型林業研修会の開催(第1回9/2~9/3、第2回11/18~11/19) ・さかわ発明ラボの事務所移転によりラボ機能を集約整備(4月)、ワークショップ及び放課後発明クラブを開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進 ・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化、法人設立に向けた検討 ・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒運営体制構築の検討
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額: 100,000千円 <H26: 61,550千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額: 100,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>うるめ商品の販売額: 78,597千円 → 実績 83,315千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>うるめ商品の販売額(11月末) : 52,869千円(前年同期比100.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本釣りうるめ祭りの開催(5/14~5/31): 18店舗参加 ・イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店10店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限12月末) ・売上向上に向けた協議: 5回 ・商談会、イベントへの出展: 5回 <ul style="list-style-type: none"> ➢商談件数: 20件 ➢新規取引先数: 8件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 ・販路拡大及び販売促進 ⇒県版HACCP第2ステージ認証のH30年度中の取得に向け、社内にHACCPチームを編成し取り組みを推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催 ・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種(サバ・アジ・タイ等)の一次加工処理及び新商品開発による売上確保(サバ・タイの漬け丼を2月販売開始予定)
<p>■No.17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承(土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館 	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8億円 (機械すき4.4億円、手すき0.4億円) <H26: 4.8億円(機械すき4.4億円、手すき0.4億円)> 手すき和紙協同組合加入の事業体: 31事業体<H27: 31事業体></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8億円 (機械すき4.4億円、手すき0.4億円) 手すき和紙協同組合加入の事業体: 30事業体</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8億円 → 実績5.0億円 (機械すき4.4億円 → 実績4.6億円、 手すき0.4億円 → 実績0.4億円) 手すき和紙協同組合加入の事業体: 30事業体 → 実績20事業体</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙の博物館入館者数：21千人（前年同期比125%） Kami祭実行委員会（いの通信局チーム会）の開催：8回 土佐和紙関係者意見交換会の開催（紙の博物館、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、土佐市、いの町、県）（6/1、12/22） 紙の博物館内における各種体験メニューの提供（5/3～5/5） 利用者数：計321人（夏休み期間中）利用者数：計368人（Kami祭11/23）利用者数：計161人 紙の博物館 売店がクレジットカードに対応（4月～） 紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具（箕、桁）の状況確認（7/13、8/22）及び台帳作成作業（8/22） 高知国際版画トリエンナーレ展（10/7～12/3）の開催 ➤入館者数：8,833人（前回比110.6%） Kami祭、夜の紙博 和紙と灯りのアート展 with トリエナーレ展 開催（11/23） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙の博物館への集客及び土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり 紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒専門的知識を持つ者による状態確認及び道具の保管台帳の作成、修繕対応可能な道具職人の有無についての確認
<p>■No. 19 いの町中心市街地の活性化（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> いの町 いの町商工会 <p>※地域産業クラスター関連（いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト）</p>	<p>[目標（H31）]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業 ：8事業所（H28～31累計）<H26：2事業者></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2事業所</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2事業所 → 実績0事業所</p> <p>[取組状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業（11月末）：2事業所（雑貨屋、ラーメン屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> いの通信局主催のイベント等協議（4月～8回） いの町議会建設産経常任委員会へ中心市街地活性化構想案報告（4/21、10/26、12/21） 高知県手すき和紙協同組合と手すき和紙職人へ中心市街地活性化構想案説明（4/21）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関を交えて中心市街地活性化構想案を協議(5/8、6/1) ・中心市街地活性化構想案について関係者間協議(6月～12回) <ul style="list-style-type: none"> ※中心市街地活性化構想:町有施設等を活用した土佐和紙職人の育成や飲食施設の整備による地元住民や移住者等の交流の場をつくり交流人口の増を図る構想 ・昨年度に引き続き生姜焼き街道の実施を決定 ・生姜焼き街道全体会(7/24、10/25) ・生姜焼き街道と併せて町内飲食店6店舗で生姜スイーツ提供の取り組み開始(8/1～) ・生姜焼き街道(スイーツ版含む)のPRチラシ・ポスターの作成・配布(10月～) ・生姜焼き街道スタンプラリー開始(11/1～2/28) ・Kami祭開催(11/23) <ul style="list-style-type: none"> →生姜焼き街道新名物豚の生姜焼きスープ“ひやくねん”の提供、新生姜のはかり売り、紙投げなどの新たな企画を実施 ・地域おこし協力隊、地元住民、商店主が連携し、商店街へ木の椅子を設置(11月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化イベントを継続するための体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒地元商店街への参加の呼びかけ等により、商店街が一体となって取り組むために必要な意識を醸成 ・空き店舗の活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒空き店舗家賃補助事業の実施 ・中心市街地活性化構想案実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒中心市街地活性化構想案の実施に向けた関係各所との協議 ・生姜焼き街道・生姜スイーツの取り組みのPR・周知 <ul style="list-style-type: none"> ⇒イベントに付随した取り組みの検討など、観光協会等関係各所との連携によるさらなるPR・周知の強化
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)高知アイス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>冷菓等の販売額:4.5億円<H26:3.75億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額:4.32億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>冷菓等の販売額:4億円 → 実績4.13億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>冷菓等の販売額(1~10月) : 4.27億円(前年同期比117%)</p> <p>(内訳)</p> <p>海外(卸・催事)販売額(1~10月) : 0.38億円(前年同期比72.9%)</p> <p>国内販売額(1~10月) : 3.57億円(前年同期比123%)</p> <p>売店販売額(街カフェ売上含む)(1~10月) : 0.31億円(前年同期比134%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外、海外(台湾、ハワイ、タイ、シンガポール等)での商談会、プロモーション活動(10月末):16回 ・ 産振総合補助金の活用による生産体制及び売店施設の拡充(8月完了) ・ 平成29年度米国食品安全強化法(FSMA)対応支援事業(研修・個別訪問指導)受講 ・ 新商品発売(瀬戸内銘菓プチポエムアイス、リープルアイス)(9月) ・ H30.2月のスーパーマーケットトレードショーに向けたドリンクの新商品開発開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外での販路拡大 ⇒ 関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒ 香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓 ⇒ TV、新聞等での広報・宣伝活動
<p>■No.21(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)フードプラン ・ 仁淀川町 ・ 庭先集荷の農家 <p>※地域産業クラスター関連((株)フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>(株)フードプランの販売額:6.4億円<H26:4.4億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>販売額:6.0億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>販売額:6.0億円 → 実績5.6億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(株)フードプランの販売額</p> <p>(H29.9月期):6.2億円(前年比111%)</p> <p>(H29.10月):0.54億円(前年同期比105%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新工場整備にかかる関係者協議の定期開催(毎月) ・ 県版HACCP(第2ステージ)認証取得(6/29) ・ ドレッシングの商品化に向けて、食品産業総合支援事業費補助金の活用により機器を整備(8/8交付決定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 (佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町 ・ JA コスモス ・ 地元農家 ・ 地元酪農家 ・ 佐川町商工会 ・ 地元商工業者 ・ (有)吉本乳業 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.57 億円 < H27 : 0.86 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.33 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 0.92 億円 → 実績 1.29 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 (H29.7 月期) : 1.22 億円 (前年比 95%) (8~10 月) : 25,329 千円 (前年同期比 81%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催 : 6 回 (4/5、5/10、7/12、8/10、9/13、10/26) ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地乳のブランド力向上 ⇒ 地乳プロジェクト推進会議の組織体制及び事業内容の再検討 ・ 地乳の販路拡大 ⇒ 四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり ・ 衛生管理体制の強化 ⇒ 県版 HACCP (第 2 ステージ) (認証取得済) に基づく衛生管理手順の遵守及び第 3 ステージの認証取得に向けた社内体制の構築
<p>■No. 24 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 (越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)岡林農園 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.8 億円 < H26 : 1.4 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.95 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.75 億円 → 実績 1.93 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>岡林農園の販売額</p> <p>(H29.8 月期) : 2.11 億円 (前年比 109.8%) (9~11 月) : 39,035 千円 (前年同期比 66.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商談会・イベント等への出展 (10 回) ・ オーストラリア、インドネシア等海外へのユズ果汁等の輸出を拡大 ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) ・ 5S 推進による体質改善 (通年)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆずグリーンチリソース」「ゆず果汁飲料」の販売開始(10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織及び経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や 5S、県版 HACCP (第3ステージ) 取得の推進継続 ・人材(管理職等)の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加
<p>■No. 25 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エスエス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額: 90,000千円 <H26: 46,760千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額: 70,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額: 70,000千円 →実績 66,397千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 (H29.8月期): 62,257千円(前年比93.8%) (9~10月): 9,891千円(前年同期比86.2%)</p> <p>◇ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の安定的な製造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産400ケース、月産10,000ケースを製造 <p>◇新商品の開発・販売のサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)コスモ工場の竹くずを商品原料としてテスト使用(H28.9~12月)し、経年変化を調査 →原材料としての可能性を確認 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒OEM先のアース・ペット(株)との連携強化 ⇒原材料(オガ粉)の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保 ・OEM先の新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工場との連携体制を構築 ・原材料(オガ粉)の供給量不足への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒オガ粉に代わる原材料として、製紙スラッジ(紙の精製過程で発生する廃棄物)を使用したシステムトイレ対応ネコ砂の製造に向けたテストの実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社) さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[H28 到達状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：4,500人 → 実績 4,511人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数：61,000人 → 実績 64,603人(速報値)</p> <p>主要観光施設の入込客数：270,000人 → 実績 238,983人(速報値)</p> <p>[取組状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数(11月末) ：3,782人(前年同期比98%)</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数(11月末速報値) ：28,182人(前年同期比54%)</p> <p>主要観光施設の入込客数(11月末速報値) ：175,948人(前年同期比101%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターによる情報発信 ・セールス件数(11月末)：訪問108社、商談会150社 ・物産観光PR(11月末)：3回(東京海上日動火災4月、大阪海遊館7月、東京ドリームよさこい11月) ・仁淀ブルーメールマガジン配信数(11月末)：34本 ・仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会の開催 ・「仁淀ブルーDMO(仮称)」の形成・確立に向けた調査・分析及び観光戦略案策定の関係者協議(3回) ・JRトロッコ列車「志国高知 幕末維新号」との連携(列車内ガイドの実施など) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会、県(地域本部・地域観光課))のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会において、関係者による仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、JA、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>施設来客者数：12 万人<H27:0 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>施設来客数：9 万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>施設来客数：7 万人 → 実績 6.2 万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>施設来客数（11 月末）：86,334 人（前年同期比 207%） 直販所レジ通過者数（11 月末）：28,114 人 （前年同期比 117%） 直販所売上高（11 月末）：22,964 千円（前年同期比 126%） 飲食店レジ通過数(11 月末)：17,348 人(前年同期比 122%) 飲食店売上高（11 月末）：16,247 千円（前年同期比 108%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施（1 周年祭、写真展・地区民展、ヨガ教室など 7 回） ・施設 PR の実施（土佐の豊穰祭いの会場・高知市会場他イベントへの出展 5 回） ・テナント間の連携事業実施に向け、産振アドバイザーの導入（9 月～、全 5 回中 4 回実施済） ・直販所への集荷を強化するため、越知町への出張集荷（ニンジン、ジャガイモ、卵、花卉類の苗等）を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増加させるための仕組みづくり ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ⇒観光体験メニュー（カヤック、BBQ、サイクルオアシス等）の提供 ⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催 ⇒高知新港に寄港する客船の乗客誘致（出展・出張レンタサイクルなど） ・観光交流施設「南風」（直販所・カフェ）の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開
<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>上町地区への入込客数：25,000 人<H26:15,000 人> 上町まち歩きガイド利用者数：5,000 人<H26:4,585 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数：22,500 人 上町まち歩きガイド利用者数：4,200 人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・佐川町内の地域づくり団体</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>上町地区への入込客数：21,250人 → 実績 22,023人 上町まち歩きガイド利用者数：3,800人 → 実績 4,321人</p> <p>[取組状況]</p> <p>上町地区への入込客数(11月末) ：19,437人(前年同期比132%)</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数(11月末) ：3,672人(前年同期比134%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青山文庫入館者数(11月末)：5,911人(前年同期比176%) ・土佐の観光創生塾への参加(観光協会より1名参加) ・さかわ観光クラスター協議会の開催：4回(5/25、7/20、9/27、11/28) ・観光クラスター形成のため、高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(8/1交付決定)を活用 <ul style="list-style-type: none"> ▶牧野公園ガイド養成講座の開催(8/5、11/4) ▶公園案内パンフレット作成の委託先決定(10/2) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛けや体験プログラムの検討等によるクラスターのさらなる推進 ⇒多言語対応可能なポータブル町歩き音声ガイドの作成
<p>■No. 35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・越知町</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇スノーピーク監修のアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民への説明(4/27 越知町区長連合協議会総会) ・越知町かわの駅キャンプ場条例の制定(6/13) ・観光拠点等整備事業費補助金外部審査会(7/14) ・日ノ瀬キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> ▶フリーサイト：10/12 造成工事完了 ▶宿泊棟：9/25 造成工事発注 ▶管理棟：7/26 建築確認申請、9/25 工事発注 ・宮の前公園キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> ▶センターハウス：12/12 造成工事発注

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に向けた所有者との交渉 ・指定管理者公募 (10/1～10/24) →指定管理者をスノーピークに決定 (11/13) ・東京大学「フィールドワークスタディ型政策協働プログラム (テーマ: キャンプ場を核とした地域活性化)」の実施 (8/22～9/1) ・町民等への事業周知を目的としたイベント実施 (2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認 ・施設における物販等ソフトの検討 ⇒流域物販に向けた事業者との調整
<p>■No.36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)屋形船仁淀川 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数: 4,500人 <H26: 3,261人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>乗船者数: 6,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>乗船者数: 4,100人 → 実績 5,276人</p> <p>[取組状況]</p> <p>乗船者数 (11月末): 5,323人 (前年同期比 116.5%) ガイド付き乗船者数(11月末): 420人 (前年同期比 84.8%)</p> <p>◇観光客の受入体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド人数 (11月末): 5人 <p>◇国内外に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル (外国語対応) の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの増員に向けチラシを配布 ケイビングガイド2人が乗船して遊覧ガイドの勉強をする予定 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設 (地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中)、売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・酔鯨酒造株式会社 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>施設来客数：2,000 人<H29：- ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> - (施設未整備) <p>[H28 到達状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> - (H29 新規 A P) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・醸造棟施設整備開始 (9/19 起工式、H30.7 月完了予定) ・平成 30 年 11 月酒造見学体験開始予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューづくり ⇒多様な関係者との協議の場づくり、メニューの洗い出し等 ・観光客の受入体制の構築 ⇒受入に必要なサービスや施設等の検討、仮見学スペース・フリースペース (ESL ガーデン) の活用方法の検討 ・誘客の促進 ⇒誘客計画の作成 ・商品開発 ⇒土佐市の水・米を使った新酒開発の検討

2 平成 29 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>5/19 交付決定</p> <p>7/21 変更交付決定</p>	<p>・最中アイス、ドリンクの生産体制を強化し、新規取引先の開拓や取引先の規模拡大を目指すとともに、売店テラスを改修することで来客者の満足度及び稼働率の向上を図る。</p>	<p>20,373 (9,330)</p>
<p>No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 (仁淀川町)</p> <p>4/27 交付決定</p>	<p>・新工場を建設することで、県内産の野菜を中心に使用したカット野菜の製造能力を上げ、増加する県内外からの取引ニーズに対応するとともに、仁淀川町の中山間地域での雇用の拡大、農業者の増加を図る。</p>	<p>341,604 (100,000)</p>
<p>No. 22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の 6 次産業化推進 (仁淀川町)</p> <p>4/24 交付決定</p> <p>9/22 変更交付決定</p>	<p>・沢渡茶の販売拠点を整備し、茶をはじめとする地域の特産品等の販売拡大に取り組むことにより、地域の雇用創出及び茶生産者の所得向上を図るとともに、地域の観光拠点として交流人口の拡大を図る。</p>	<p>44,907 (19,908)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver.2 の説明(5/24)
- ・越知町商工会総会で第3期計画 ver.2 の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver.2 の説明(5/25)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver.2 の説明(5/26)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver.2 の説明(5/31)
- ・高知銀行本店及び仁淀川流域各支店長等と地域本部との情報共有会議で取組説明(6/23)
- ・日本政策金融公庫との意見交換(7/6)
- ・高知銀行本店及び仁淀川流域各支店長等と地域本部との情報共有、意見交換(11/10)

4 相談案件：8件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/21・6/6	食品加工	加工製品販路開拓（パッケージデザイン等）について
2	4/11	商工	食品加工施設の改修について
3	5/23	産業	機能性表示食品制度の活用に向けた取り組みについて
4	5/24・7/24	商業	ピザ販売に向けた取り組みについて
5	6/1	農業	文旦農家企業相談について
6	6/2	商工	加工食品の設備整備（削り芋封入時の窒素充填機械導入検討）について
7	6/5	観光	観光施設の維持継続について
8	11/16	地域貢献	地域でのボランティア活動について